

資料目次

- 資料1 「グローバル共創科学部（仮称）」設置構想に関するアンケート 1
調査方法：郵送調査
期 間：2022年1月18日～2月10日（【資料1】参照）
対 象：2017年度から2021年度の5年間で本学への入学者が100人以上
の静岡県内の高等学校13校の1年次と2年次の生徒 約8,000人
- 資料2 「グローバル共創科学部（仮称）」設置構想に関するアンケート 7
調査方法：郵送調査
期 間：2022年1月18日～2月10日（【資料1】参照）
対 象：2017年度から2021年度の5年間で本学卒業生が5人以上就職
した企業等 102社
- 資料3 静岡大学新学部「グローバル共創科学部（仮称）」へ期待すること 15

【資料1】

令和4年1月吉日

高等学校1年生・2年生の皆様

国立大学法人静岡大学 学長 日 詰 一 幸

静岡大学「グローバル共創科学部（仮称）」設置構想に関する
アンケート調査についてご協力をお願い

静岡大学は、国際社会や地域社会の課題に向き合い、人文・社会科学や自然科学といった従来の分野にとらわれない広い視野を持って、新たな価値や技術、社会の仕組みを創造することで、人類や日本の未来を切り拓くことができる人材を養成することを目的に、新学部「グローバル共創科学部（仮称）」を設置するための準備を進めています。現在構想中の新学部（別添の図を参照）は、①国際地域共創コース、②環境科学コース、③人間科学コースの1学部1学科3コースより構成されます。各コースとも、入学後は外国語（英語）とデータ処理技術を基本スキルとして身に付けながら、自然科学、人文・社会科学の枠に限定されることなく広い学問分野を身に付け、その上で各コースの専門分野を選択することで、物事の本質を見極めて、新しいことを自らの手で実現できることができる人材を養成することとしています。

本調査は、みなさんに対し、新学部での学びへの関心や期待などについてお尋ねし、お寄せいただいた結果を踏まえ、本構想に役立てたいと考えています。下記のQRコードからアンケート内容をご確認いただき、回答にご協力ください。

以上、よろしくお願い申し上げます。

- ・ 本アンケートは、設置構想における基礎資料として活用することを目的にしておりそれ以外に使用することはありません。
- ・ 回答の内容により、不利益を被ることはありません。
- ・ 構想概要の図をご確認のうえ、ご回答ください。

アンケートQRコード



【実施期間 2022年2月9日まで】

【資料1】

アンケート質問事項（高校1・2年生向け）

【Q1】 回答される方の学年、現在の志望分野などについてお尋ねします。

- (1) 学年 ①高校 1 年生 ②高校 2 年生
- (2) 現在の志望分野 ①理系 ②文系 ③まだ決めていない
- (3) 性別 ①女性 ②男性 ③回答しない

【Q2】 新学部は、「国際地域共創コース」「環境科学コース」「人間科学コース」からなる1学部1学科3コースより構成されます。

(1) 「国際地域共創コース」では、少子高齢化、多文化共生、循環型経済など、地域課題や国際的な課題を学びます。民間企業はもとより、地方自治体やNPO、報道機関や国際的な機関などを活躍の場として、課題解決に取り組める人材を育成します。このコースに関心・興味はありますか？

- 1. とても興味・関心がある
- 2. やや興味・関心がある
- 3. あまり関心・興味はない
- 4. 特に興味・関心はない

(2) 「環境科学コース」では、地球温暖化や、カーボンニュートラル、環境汚染など、解決が求められている環境問題を学びます。環境分野の技術開発や企画・立案にかかわる企業などを活躍の場として、課題解決に取り組める人材を育成します。このコースに関心・興味はありますか？

- 1. とても興味・関心がある
- 2. やや興味・関心がある
- 3. あまり関心・興味はない
- 4. 特に興味・関心はない

(3) 「人間科学コース」では、AIやビッグデータなどデータサイエンスのほか、心理学、倫理学、さらにスポーツ科学などの分野から人間とそれに関する諸問題を学びます。マーケティングをはじめ、教育、医療福祉などを活躍の場として、課題解決に取り組める人材を育成します。このコースに関心・興味はありますか？

- 1. とても興味・関心がある
- 2. やや興味・関心がある
- 3. あまり関心・興味はない
- 4. 特に興味・関心はない

【Q3】 新学部では、上記の各コースの学びに必要な基本スキルとして入学者全員が外国語（英語）とデータ処理技術を身に付けることができます。

(1) 英語では、例えば国際的問題についてさまざまな国や地域の異なる事情や価値観を持った人たちと議論できる力を身に付けることを目標としています。このような能力を身に付けたいと思いますか？

1. 強く思う
2. 思う
3. あまり思わない
4. 全く思わない
5. 特に関心はない

(2) 大学在学中に短期（1か月程度）または長期（3～12か月）の海外留学をしたいと思いますか？

1. 強く思う
2. 思う
3. あまり思わない
4. 全く思わない
5. 特に関心はない

(3) この学部の数理データサイエンス教育では、国家資格のITパスポートや統計学検定2級の取得を目標としています。このような資格を取得したいと思いますか？

1. 強く思う
2. 思う
3. あまり思わない
4. 全く思わない
5. 特に関心はない

【Q4】 静岡大学が現在検討を進めている新学部「グローバル共創科学部（仮称）」について説明会やオープンキャンパスがあれば参加しますか？

1. 参加したい
2. 機会があれば参加したい
3. 参加するつもりはない
4. 特に考えていない

【Q5】 静岡大学が現在検討を進めている新学部「グローバル共創科学部（仮称）」が設置された場合、入学を希望しますか？

1. 強く希望する
2. 条件が合えば希望する
3. 希望しない
4. 特に考えていない

静岡大学は次のような理念と目標を掲げ、日々、学生の教育、先端的な研究、社会との連携に取り組んでいます。これからも社会と協調し、世界が抱える多くの課題に挑戦していきます。

その大きな第一歩が、 「グローバル共創科学部(仮称)」 の設置構想です。

静岡大学の理念

「自由啓発・未来創成」

静岡大学は、旧制の静岡高等学校、静岡第一師範学校、静岡第二師範学校、静岡青年師範学校、浜松工業専門学校（旧浜松高等工業学校）の統合（1949年）と静岡県立農科大学の移管（1951年）を経て誕生しました。統合前の前身校では、いずれも大正デモクラシー下の自由な社会の雰囲気背景として、学生の主体性に重きをおく教育方針がとられてきましたが、なかでも浜松高等工業学校では、「自由啓発」という理念のもと、学生たちを試験や賞罰によって縛るのではなく、できる限り自由な環境のなかに置き、ひとり一人の個性を尊重することを通してその才能を發揮させることをめざす教育が行われました。

この理念は、教育だけでなく、なにごとにもとらわれない自由な発想に基づく独創的な研究、相互啓発的な社会との協働に不可欠であり、時代を越えて受け継がれるべきものです。静岡大学の学生・教職員は、このような認識の下で、教育、研究、社会連携・産学連携、国際連携の柱として、「自由啓発」の理念を引き続き高く掲げ、共に手を携えて地域の課題、さらには地球規模の諸問題に果敢にチャレンジするとともに、人類の平和と幸福を絶えず追求し、希望に満ちた未来を創り出す「未来創成」に全力を尽くします。

静岡大学は、以上のような意味での「自由啓発・未来創成」の理念のもと、静岡県に立地する総合大学として、地域の豊かな自然と文化に対する敬愛の念をもち、質の高い教育、創造的な研究による人材の育成を通して、人類の未来と地域社会の発展に貢献していきます。

教育の目標

- 多様な文化と価値観を尊重する豊かな人間性とチャレンジ精神を有し、高い専門性と国際感覚を備えた、人類の未来と地域社会の発展に貢献できる人材を育成します。
- 上記の人材を育成するために、国際水準の質の高い教育を行うとともに、学生・教職員の協働のもと、学生が主体的・能動的に学習する教育を推進し、さらに、学生が地域づくりの一員として、自由闊達に地域の人々と交流し、学びあい、地域課題の解決に向け連携・協働する取組を進めます。

研究の目標

- 真理を探究する基礎研究から技術開発や課題解決のための応用研究にわたる独創的な研究を推進し、研究成果を国際社会や地域社会及び産業界に還元することにより、人類の知及び学術文化の継承と発展に貢献します。
- 地域の知の拠点として、多様な研究を通して地域社会の発展に貢献するとともに、世界をリードする研究に取り組み、研究上の強みと特色のある分野では世界的研究拠点の形成を目指します。

社会連携・産学連携の目標

- 社会の中の一員として、社会に開かれた教育研究を推進するとともに、社会が直面する課題に協働して取り組み、成果の発信と共有及び知と価値の共創を通して社会に貢献します。
- 地域社会と学生・教職員が相互に啓発しあう関係を構築するとともに、地域との協働による課題解決を通して、地域社会の価値の創造と持続的な発展に貢献します。
- 地域イノベーションをリードする人材の育成や産官学連携による共同研究、ベンチャー企業の活動支援等を通して、地域の新産業・雇用の創出に貢献します。

国際連携の目標

- 諸外国と学生・教職員の幅広い交流や留学生の積極的な受入れを通して、グローバルに活躍できる人材を育成し、大学の国際化を推進します。
- 地域社会に根ざした国際連携を推進し、地域と手を携えながら、地域社会とアジア、そして世界をつなぐ、人や文化・産業の橋渡しの役目を果たします。

グローバル共創科学部（仮称）

1. これからの社会で活躍するために必要な視点・理性・知識・技能を自ら成長させることができる人材を育成します。

- 語学（英語）とデータ処理技術を基本スキルとして身に付けることができます。
- 自然科学、人文・社会科学の分野を横断しながら学び、その上で各コースの専門分野を選択することで、深く研究テーマを掘り下げていくことができます。

2. 1学科3コース制です。

国際地域共創コース

少子高齢化、多文化共生、循環型経済など、地域課題や国際的な課題に取り組みながら、地方自治体やNPO、報道機関や国際的な機関などで活躍できる人材を育成します。

環境科学コース

地球温暖化、カーボンニュートラル、環境汚染など、解決が求められている環境問題に取り組みながら、環境分野の技術開発や政策立案にかかわる機関などで活躍できる人材を育成します。

人間科学コース

AIやビッグデータなどデータサイエンスのほか、心理学、倫理学、さらにスポーツ科学などの分野から人間とそれに関する諸課題に取り組みながら、マーケティングをはじめ、教育、医療福祉などで活躍できる人材を育成します。

「グローバル共創科学部（仮称）」のカリキュラム案

1年		2年		3年		4年	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
教養科目（必修16単位・選択10単位）							
外国語科目（選択必修16単位） 英語コミュニケーション・英語ディベート・英語プレゼンテーション・技術英語・初修外国語							
データサイエンス科目（必修12単位・選択4単位） IT技術・プログラミング基礎演習・センシング制御演習・工学技術・データベース技術・AI							
地域・グローバル演習科目群（選択必修6単位） 海外研修プログラム・地域研修プログラム・インターンシップ・ボランティアプログラム							
文理融合コア科目（必修24単位・選択必修8単位） 各コースの導入・基礎科目：多文化共生論、地球環境論、体の構造と機能、心理学基礎など							
国際地域共創コース専門科目（必修12単位・選択16単位）							
環境科学コース専門科目（必修18単位・選択10単位）							
人間科学コース専門科目（必修14単位・選択14単位）							

※本構想は計画段階であり、今後内容を変更する場合があります。

【資料1】



【資料2】

令和 4 年 1 月吉日

自治体・企業 各位

国立大学法人静岡大学 学長 日 詰 一 幸

静岡大学 新学部「グローバル共創科学部（仮称）」設置構想に関する
アンケート調査についてご協力のお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃は、事業運営に多大なるご支援ご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、この度、静岡大学は、国際社会や地域社会の課題に向き合い、人文・社会科学や自然科学といった従来の分野にとらわれない広い視野をもって、新しい価値や技術、社会の仕組みを創造することで、人類や日本の未来を切り拓くことができる人材を養成することを目的に、新学部「グローバル共創科学部（仮称）」を設置するための準備を進めています。現在構想中の新学部（別添の図を参照）は、①国際地域共創コース、②環境科学コース、③人間科学コースの1学部1学科3コースより構成されます。各コースとも、入学後は語学（英語）とデータ処理技術を基本スキルとして身に付けながら、自然科学、人文・社会科学の枠に限定されることなく広い視野を身に付け、その上で各コースの専門分野を選択することで、物事の本質を見極めて、新しいことを自らの手で実現することができる人材を養成することとしています。

このことについて、企業等の皆様からのご意見等を伺い、現在設置を検討している新学部において、より良い人材育成を目指すためにアンケートにご協力いただきたくお願い申し上げます。本アンケートの依頼先は、本学の卒業生を採用していただいた企業の皆様です。大変お忙しい中恐縮ですが、下記の QR コードからアンケート内容をご確認いただき、ご回答お願い申し上げます。

なお、ご回答は統計的な集計を行い、個々の情報として取り扱うことは決してございません。ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

アンケート QR コード



【実施期間 2022年1月21日まで】

本件に関するご質問・お問い合わせ等は、下記までお願いします。

【静岡大学企画部企画課】
静岡市駿河区大谷 836
電話 054-238-4575

アンケート質問事項（自治体・企業向け）

【Q1】 貴社・貴組織の概要についてお伺いします。

- (1) 貴社・貴組織の名称 所在地（本社・本部所在地）
 1. 静岡県西部
 2. 静岡県中部
 3. 静岡県東部
 4. 静岡県外（※都道府県名をご記入ください）
- (2) 静岡県内における 事業所等の有無
 1. ある
 2. ない
- (3) 海外における 事業所等の有無
 1. ある【国名】主なところ3ヶ国 ① ② ③ ない
 2. ない
- (4) 貴社・貴組織の事業所を含めた全従業員・全職員数をお知らせください。
 1. 1～9人
 2. 10～49人
 3. 50～99人
 4. 100～499人
 5. 500人以上
- (5) 貴社・貴組織の主たる業種をお知らせください。（複数選択可）
 1. 製造業
 2. 建設業
 3. 情報通信
 4. 運輸
 5. 卸小売
 6. 金融保険
 7. 不動産
 8. サービス
 9. 農林漁業
 10. その他

【Q2】 新学部は、「国際地域共創コース」「環境科学コース」「人間科学コース」からなる1学部1学科3コースより構成されます。

- (1) 「国際地域共創コース」では、少子高齢化、多文化共生、循環型経済など、地域課題や国際的な課題を学びます。民間企業はもとより、地方自治体やNPO、報道機関や国際的な機関などを活躍の場として、課題解決に取り組める人材を育成します。このコースの卒業生を採用することについてどう思いますか？
 1. 是非採用を検討したい
 2. 採用の可能性は考えられる
 3. 採用の可能性はあまりない
 4. 採用の可能性はない
 5. 現時点では未定
- (2) 「環境科学コース」では、地球温暖化や、カーボンニュートラル、環境汚染などを学びます。環境分野の技術開発や企画・立案にかかわる企業などを活躍の場として取り組める人材を育成します。このコースの卒業生を採用することについてどう思いますか？
 1. 是非採用を検討したい
 2. 採用の可能性は考えられる
 3. 採用の可能性はあまりない
 4. 採用の可能性はない
 5. 現時点では未定

【資料2】

(3) 「人間科学コース」では、AI やビッグデータなどデータサイエンスのほか、心理学、倫理学、さらにスポーツ科学などの分野から人間とそれに関する諸問題を学びます。マーケティングをはじめ、教育、医療福祉などを活躍の場として、改題解決に取り組める人材を育成します。このコースの卒業生を採用することについてどう思いますか？

1. 是非採用を検討したい
2. 採用の可能性は考えられる
3. 採用の可能性はあまりない
4. 採用の可能性はない
5. 現時点では未定

【Q3】 新学部では、上記の各コースの学びに必要な基本スキルとして入学者全員が外国語（英語）とデータ処理技術を身に付けることができます。

(1) 英語では、例えば国際的問題についてさまざまな国や地域の異なる事情や価値観を持った人たちと議論できる力を身に付けることを目標としています。このような能力を身に付けた学生を採用することについてどう思いますか？

1. 是非採用を検討したい
2. 採用の可能性は考えられる
3. 採用の可能性はあまりない
4. 採用の可能性はない

(2) 採用する学生の英語力は TOEIC の得点で言えば、どの程度を希望しますか？

1. 500 点以上
2. 550 点以上
3. 600 点以上
4. 650 点以上
5. 700 点以上

(3) 大学在学中に短期（1 か月程度）または長期（3～12 か月）の海外留学した学生を採用することについてどう思いますか？

1. 是非採用を検討したい
2. 採用の可能性は考えられる
3. 採用の可能性はあまりない
4. 採用の可能性はない

(4) この学部の数理データサイエンス教育では、国家資格の IT パスポートや統計学検定 2 級を取得することを目標としています。このような資格を取得した学生を採用することについてどう思いますか？

1. 是非採用を検討したい
2. 採用の可能性は考えられる
3. 採用の可能性はあまりない
4. 採用の可能性はない

【Q4】 静岡大学が現在検討を進めている新学部「グローバル共創科学部（仮称）」について興味・関心はありますか？

1. とても興味・関心がある
2. やや興味・関心がある
3. あまり関心・世興味はない
4. 特に興味・関心はない

【Q5】 今回の新学部構想に期待することや、静岡大学が輩出する人材に期待することなどご意見・ご要望がありましたら、下記に記述してください。

静岡大学は次のような理念と目標を掲げ、日々、学生の教育、先端的な研究、社会との連携に取り組んでいます。これからも社会と協調し、世界が抱える多くの課題に挑戦していきます。

その大きな第一歩が、 「グローバル共創科学部(仮称)」 の設置構想です。

静岡大学の理念

「自由啓発・未来創成」

静岡大学は、旧制の静岡高等学校、静岡第一師範学校、静岡第二師範学校、静岡青年師範学校、浜松工業専門学校（旧浜松高等工業学校）の統合（1949年）と静岡県立農科大学の移管（1951年）を経て誕生しました。統合前の前身校では、いずれも大正デモクラシー下の自由な社会の雰囲気背景として、学生の主体性に重きをおく教育方針がとられました。なかでも浜松高等工業学校では、「自由啓発」という理念のもと、学生たちを試験や賞罰によって縛るのではなく、できる限り自由な環境のなかに置き、ひとり一人の個性を尊重することを通してその才能を発揮させることをめざす教育が行われました。

この理念は、教育だけでなく、なにごとにもとられない自由な発想に基づく独創的な研究、相互啓発的な社会との協働に不可欠であり、時代を越えて受け継がれるべきものです。静岡大学の学生・教職員は、このような認識の下で、教育、研究、社会連携・産学連携、国際連携の柱として、「自由啓発」の理念を引き続き高く掲げ、共に手を携えて地域の課題、さらには地球規模の諸問題に果敢にチャレンジするとともに、人類の平和と幸福を絶えず追求し、希望に満ちた未来を創り出す「未来創成」に全力を尽くします。

静岡大学は、以上のような意味での「自由啓発・未来創成」の理念のもと、静岡県に立地する総合大学として、地域の豊かな自然と文化に対する敬愛の念をもち、質の高い教育、創造的な研究による人材の育成を通して、人類の未来と地域社会の発展に貢献していきます。

教育の目標

- 多様な文化と価値観を尊重する豊かな人間性とチャレンジ精神を有し、高い専門性と国際感覚を備えた、人類の未来と地域社会の発展に貢献できる人材を育成します。
- 上記の人材を育成するために、国際水準の質の高い教育を行うとともに、学生・教職員の協働のもと、学生が主体的・能動的に学習する教育を推進し、さらに、学生が地域づくりの一員として、自由闊達に地域の人々と交流し、学びあい、地域課題の解決に向け連携・協働する取組を進めます。

研究の目標

- 真理を探究する基礎研究から技術開発や課題解決のための応用研究にわたる独創的な研究を推進し、研究成果を国際社会や地域社会及び産業界に還元することにより、人類の知及び学術文化の継承と発展に貢献します。
- 地域の知の拠点として、多様な研究を通して地域社会の発展に貢献するとともに、世界をリードする研究に取り組み、研究上の強みと特色のある分野では世界的研究拠点の形成を目指します。

社会連携・産学連携の目標

- 社会の中の一員として、社会に開かれた教育研究を推進するとともに、社会が直面する課題に協働して取り組み、成果の発信と共有及び知と価値の共創を通して社会に貢献します。
- 地域社会と学生・教職員が相互に啓発しあう関係を構築するとともに、地域との協働による課題解決を通して、地域社会の価値の創造と持続的な発展に貢献します。
- 地域イノベーションをリードする人材の育成や産官学金連携による共同研究、ベンチャー企業の活動支援等を通して、地域の新産業・雇用の創出に貢献します。

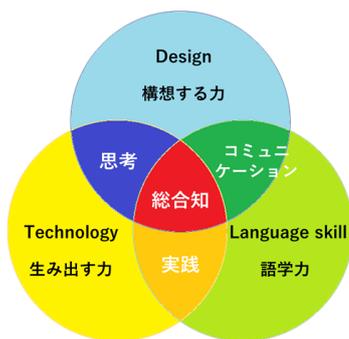
国際連携の目標

- 諸外国と学生・教職員の幅広い交流や留学生の積極的な受入れを通して、グローバルに活躍できる人材を育成し、大学の国際化を推進します。
- 地域社会に根ざした国際連携を推進し、地域と手を携えながら地域社会とアジア、そして世界をつなぐ、人や文化・産業の橋渡しの役目を果たします。

「グローバル共創科学部（仮称）」の基本コンセプト案

静岡大学は、新しい価値観や社会の仕組みを創造する力を育成するため、主体的な学びにより習得する「総合知」を基礎として、必要な姿勢や能力となる「思考力」、「実践力」、「コミュニケーション力」を養成します。

課題への取組みを通じて、これからの社会で活躍するために必要な視点・知識・技能を自ら成長させることができます。



課題思考力

社会の諸問題解決に向け適切に課題を設定でき、個々との知を組み合わせ、解決方策を思考する力

連携実践力

課題解決に向け、多様な立場の人たちと多面的、多角的に議論・連携し、実現可能な方策を構想、実践する力

国際コミュニケーション力

関係する多様なステークスホルダーに課題解決策を説明し、理解と協力を得る力

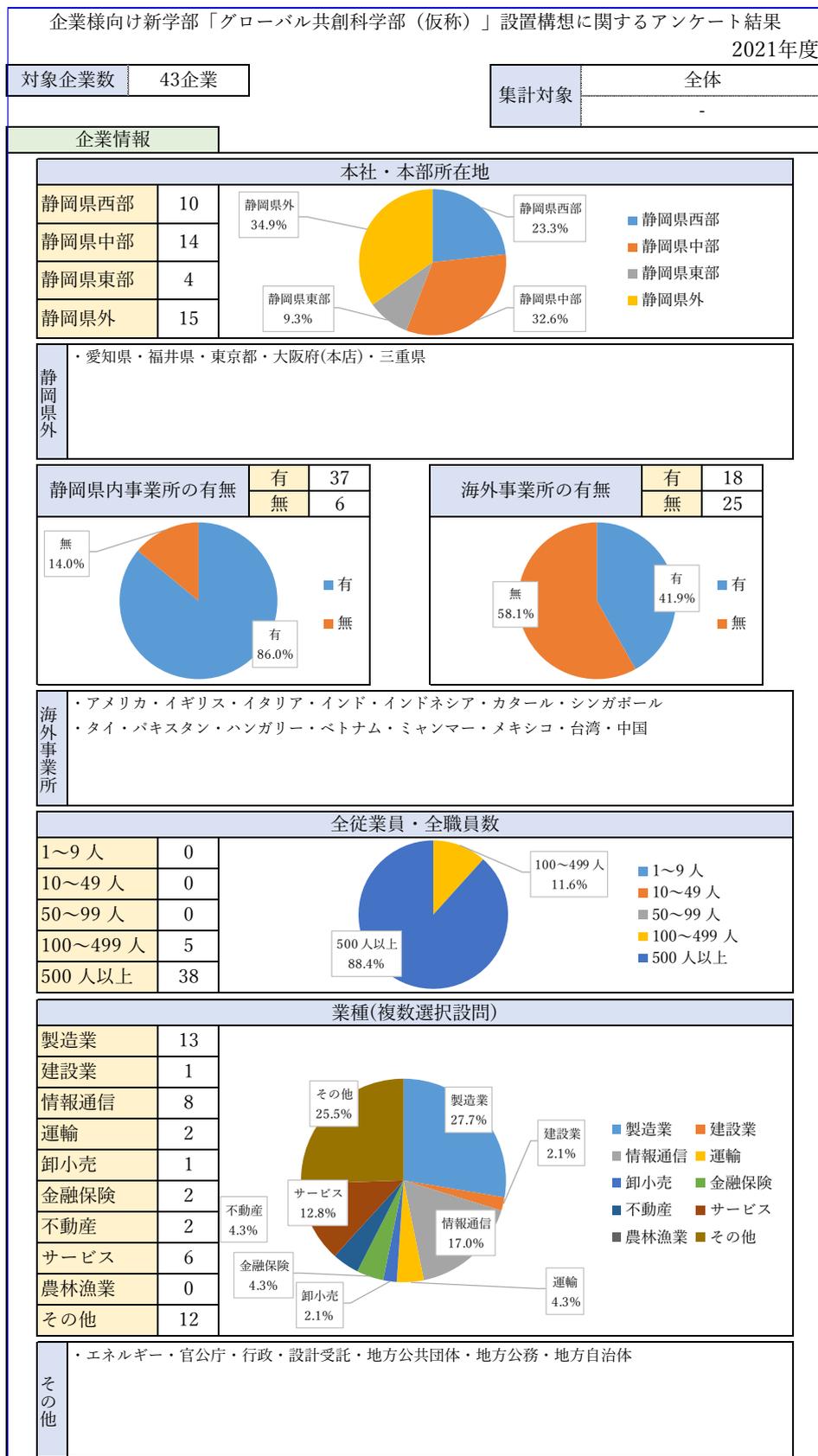
※ 総合知とは、人文学、社会科学、自然科学のどの分野であれ、一つの専門を深く学ぶとともに、他分野にも関心を広げ、幅広い知識と論理的思考力、規範的判断力を身につけていること

「グローバル共創科学部（仮称）」のカリキュラム案

1年		2年		3年		4年	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
教養科目（必修16単位・選択10単位）							
外国語科目（選択必修16単位）							
英語コミュニケーション・英語ディベート・英語プレゼンテーション・技術英語・初修外国語							
データサイエンス科目（必修12単位・選択4単位）							ITパスポート又は統計学検定2級を取得
IT技術・プログラミング基礎演習・センシング制御演習・工学技術・データベース技術・AI							
地域・グローバル演習科目群（選択必修6単位）							
海外研修プログラム・地域研修プログラム・インターンシップ・ボランティアプログラム							
文理融合コア科目（必修24単位・選択必修8単位）							
各コースの導入・基礎科目：多文化共生論、地球環境論、体の構造と機能、心理学基礎など							
国際地域共創コース専門科目（必修12単位・選択16単位）							
環境科学コース専門科目（必修18単位・選択10単位）							
人間科学コース専門科目（必修14単位・選択14単位）							

※本構想は計画段階であり、今後内容を変更する場合があります。

【資料2】



【資料2】

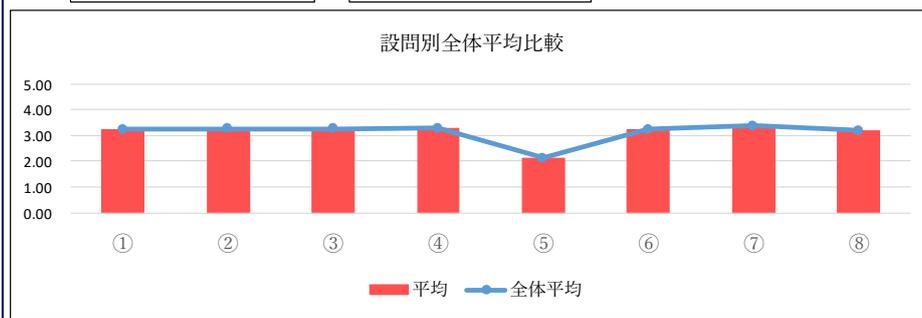
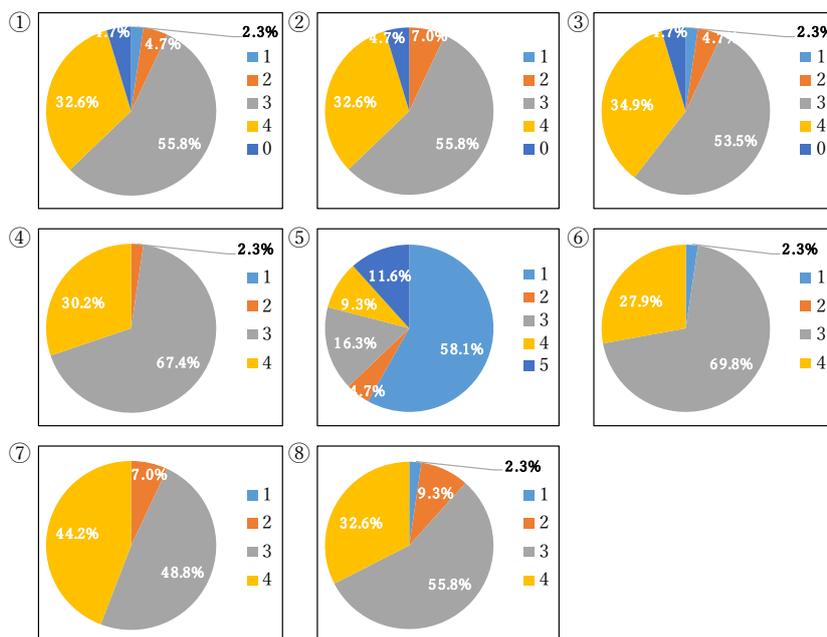
企業様向け新学部「グローバル共創科学部（仮称）」設置構想に関するアンケート結果
2021年度

全体結果

①～③ [1.採用の可能性はない 2.採用の可能性はあまりない 3.採用の可能性は考えられる 4.是非採用を検討したい 0.現時点では未定]
 ④～⑦ [1.採用の可能性はない 2.採用の可能性はあまりない 3.採用の可能性は考えられる 4.是非採用を検討したい]
 ⑧ [1.500点以上 2.550点以上 3.600点以上 4.650点以上 5.700点以上]
 ⑧ [1.特に興味・関心はない 2.あまり関心・興味はない 3.やや興味・関心がある 4.とても興味・関心がある]

設問文	1	2	3	4	5	0(※)	平均	全体平均
① 「国際地域共創コース」の卒業生を採用することについてどう思いますか？	1	2	24	14		2	3.24	3.24
② 「環境科学コース」の卒業生を採用することについてどう思いますか？	0	3	24	14		2	3.27	3.27
③ 「人間科学コース」の卒業生を採用することについてどう思いますか？	1	2	23	15		2	3.27	3.27
④ 国際的問題について議論できる力を身に付けた学生を採用することについてどう思いますか？	0	1	29	13			3.28	3.28
⑤ 採用する学生の英語力はTOEICの得点で言えば、どの程度を希望しますか？	25	2	7	4	5		2.12	2.12
⑥ 大学在学中に短期（1か月程度）または長期（3～12か月）の海外留学した学生を採用することについてどう思いますか？	1	0	30	12			3.23	3.23
⑦ 国家資格のITパスポートや統計学検定2級を取得した学生を採用することについてどう思いますか？	0	3	21	19			3.37	3.37
⑧ 静岡大学が現在検討を進めている新学部「グローバル共創科学部（仮称）」について興味・関心はありますか？	1	4	24	14			3.19	3.19

※平均点計上対象外項目



企業様向け新学部「グローバル共創科学部（仮称）」設置構想に関するアンケート結果 2021年度	
ご意見・ご要望	
<p>新学部構想に期待することや、静岡大学が輩出する人材に期待することなど、ご意見・ご要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市での事務職での受験に関して、資格・TOEIC等の有無に関する要件は特に設けておりませんが、業務を行う上で、TOEIC等を活用し活躍している職員もいますので、そういった人材に是非受験して頂けると本市としても大変ありがたいです。 ・職種により異なりますので、エントリーされる際は採用HPを確認いただきたいです。課題解決に向けて、どの立場でどのように動いたか、はっきりと自分の役割を理解し、考えて自分のもののできる学生を期待しています。職種によっては、海外等で活躍する職員もおりますので、TOEICのレベルはさらに求められてくるかと思えます。 ・当社としてはソリューションが出来る人材を採用したいと考えています。自ら自発的に動き、課題を共有できるコミュニケーションが養われていると良いと思います。 ・グローバル人材の育成には各大学様が注力されていると感じています。一方でグローバル思考の強い学生様が増えてきていることも実態として、「すぐに海外に行きたい」「海外と関わる仕事がしたい」という志向をお持ちの方が一定数いらっしゃいます。会社としてはまずは国内で基本的な業務遂行能力を身に付けていただいたのちに、海外赴任や海外との取引業務等をお任せしたいと考えております。学生様にはグローバル思考のほかに、まずはきちんと業務を遂行するための社会人基礎力も必要であるということも理解いただけますとより活躍の場が広がるかと存じます。 ・当社は静岡県に基盤を置くメディア企業です。貴学で学んだ人材は、社内で数多く活躍しており、今後も積極的に採用したいと考えています。その上で、「従来の分野にとらわれない広い視野をもって、新しい価値や技術、社会の仕組みを創造する」ことで「人類や日本の未来を切り拓くことができる人材」養成をうたう新学部の設置目的は、まさに当社が求める人材像と合致すると感じました。一方で、採用に関しては、外国語の能力、IT関連の資格を必要条件とは考えておらず、さまざまな角度から人物の総合力を見させていただきます。専門分野にとどまらず、多様な経験と豊かな発想を持つ人材の育成を期待します。なお、Q1（3）で「海外の事業所はない」旨の回答をしましたが、米国内のグループ会社に出向する形で、海外赴任することもあります。 ・新学部の創設により、学生一人ひとりの個性が磨かれ、静岡県の経済活性化ならびに地域社会の発展に貢献する人材へと飛躍されることを祈念いたします。 ・コミュニケーション能力のある人材を求めます。貴大学の益々の発展をお祈りします。 ・ITへの関心とスキルを持ち、またコミュニケーション能力も持ち合わせた学生を育成していただけたらと思います。 ・弊社では何を学んだかで採用の可否は判断されません。会社でも必要な知識を身に付け学び続けることが求められますので、大学で身に着けた「学び方」を社会に出てから活かせるような人材を求めます。「就職のため」の学部にならないことを期待しています。 	

静岡大学新学部
「グローバル共創科学部（仮称）」
へ期待すること

令和 4 年 5 月 3 1 日

静岡大学将来構想推進会議

脱炭素やデジタル化など、時代が大きく動こうとしている今日、地域の企業・団体は、専門的な知識・経験を有することに加えて、幅広い教養力に裏付けられた洞察力や、現場に入り込み、自ら主体的に課題解決に取り組むことができる行動力、また徹底的な対話により課題解決に導くことができるコミュニケーション力を有するなど、総合力を兼ね備えた人材を求めている。

静岡大学が設置を検討している新学部「グローバル共創科学部（仮称）」は、文系・理系の幅広い分野を学ぶことができ、かつ、国際的な視野を持ちつつ、地域の課題解決に向けて自ら行動できる人材を育てられるものであり、地域が待ち望んでいたものであるとともに、時流に沿ったものであると認識している。

総合大学である静岡大学には、この新学部を一つの目玉に、全ての学部を含む全学に改革意識を波及させ、学問の垣根を越えた教育・研究を展開していくことで、世界中から優秀な学生・教員が集まってくる「世界に輝く静岡大学」を、オール静岡大学で目指してもらうことを期待する。

我々、地域社会は、静岡の高等教育をリードし、盛り上げようとする静岡大学の取組を全力で応援するべく、新学部が設置された際は、外部講師の派遣、インターンシップの受入れ、実践的なフィールドワーク環境の提供などの支援を最大限、行っていく所存である。